

国語科 小学校 1年

単元名 こえにだしてよもう
「くじらぐも」
光村図書「こくごー下」

単元の流れ（全12時間）

第1次【第1・2時】

主な学習内容

題名や挿絵からイメージを広げ、作品への関心を持つ。

範読を聞き、あらすじをとらえて好きな場面や心に残ったことなどを発表する。新出漢字や片仮名を理解する。

第2次【第3時～第7時（本時 第5時）】

主な学習内容

場面の様子を登場人物や挿絵をもとにして、想像を広げながら読み取る。

- 第3時… 第1場面
- 第4時… 第2場面
- 第5時… 第3場面
- 第6時… 第4場面
- 第7時… 第5場面

「活用」の力育成のために

登場人物の行動や自分の経験、友達の意見を生かし、挿絵を使用したノート（吹き出し）に考えを書き、想像を広げて読む力を育てる。

考えを発表し合ったことをもとに、さらに動作化や音読に取り組みイメージを広げる。

CLICK

評価問題

第3次【第8時～第10時】

主な学習内容

役割を決めてグループで音読練習をし、発表会をする。くじらぐもに宛てて手紙を書く。

第4次【第11時～第12時】

主な学習内容

「見つけた雲」と話したいことを書き、みんなで交流する。

「活用」の力育成のために

「見つけた雲」との会話を楽しく想像し、文章に書く力をのばす。

HOME

本時の流れへ

授業展開例へ

単元目標

○登場人物の様子などを想像したり、声に出したりして、物語を楽しむ。

単元構成の意図

第1次で、音読を通して物語のあらすじを大まかにとらえ、自分たちの生活と重なる教材の特性を生かし、作品に対しての興味や関心を高めたい。

第2次では、文章だけでなく挿絵からも、想像を広げながら多様な意見を発表させたい。特に、場面の様子を動作化することで、作品の世界に浸ったり、様々な音読練習を繰り返すことで、声に出して読む楽しさを体感したりして、音読の力を伸ばし、第3次の学習活動につなげたい。

また、授業の記録(板書)を残し、学習の足跡として掲示することで、全体の流れの把握や次時の導入に活用したい。

第4次では、「見つけた雲」と自分との会話を想像し、自分の思いを文章に表現することの楽しさを味わうとともに、書くことに慣れ親しむ機会としたい。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 文章中の大事な言葉や文に傍線を引いたり、挿絵を活用したりして、場面の様子を想像しながら発表をさせる。
- ② 友達の話をしっかり聞き、相手に応じた話し方で、発表させる。
- ③ 友達と交流したことや自分の経験と結び付けて、ノートの吹き出しに登場人物の思いを書く活動を取り入れる。
- ④ 場面の様子を想像しながら動作化したり、語のまとまりに気を付けながら音読したりさせる。
- ⑤ 本時の目標を明確にし、めあての振り返りをさせる。